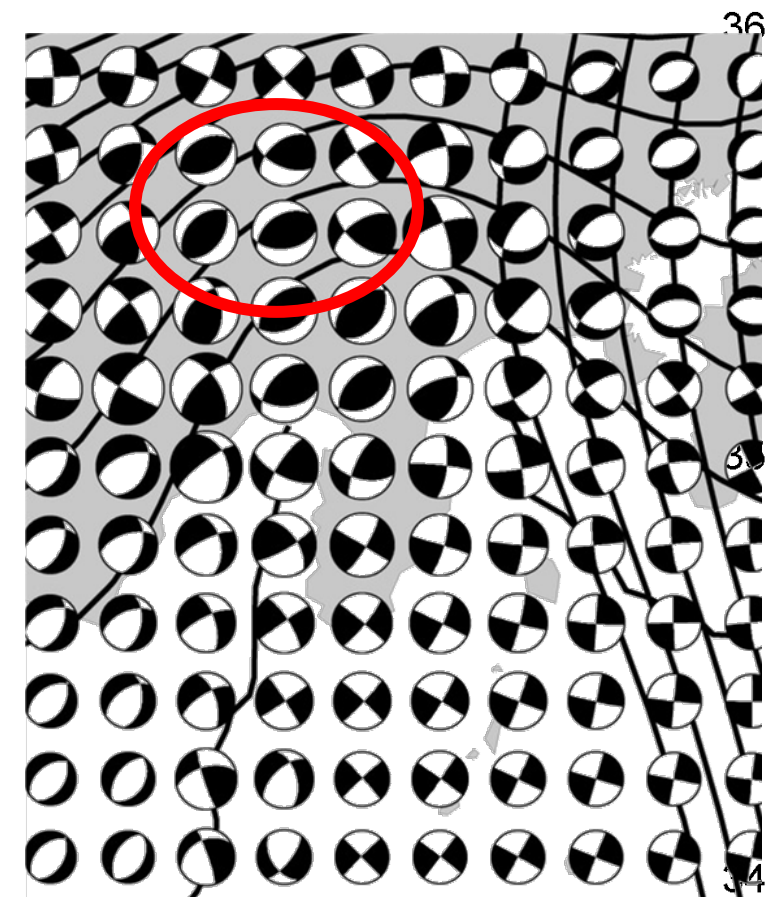
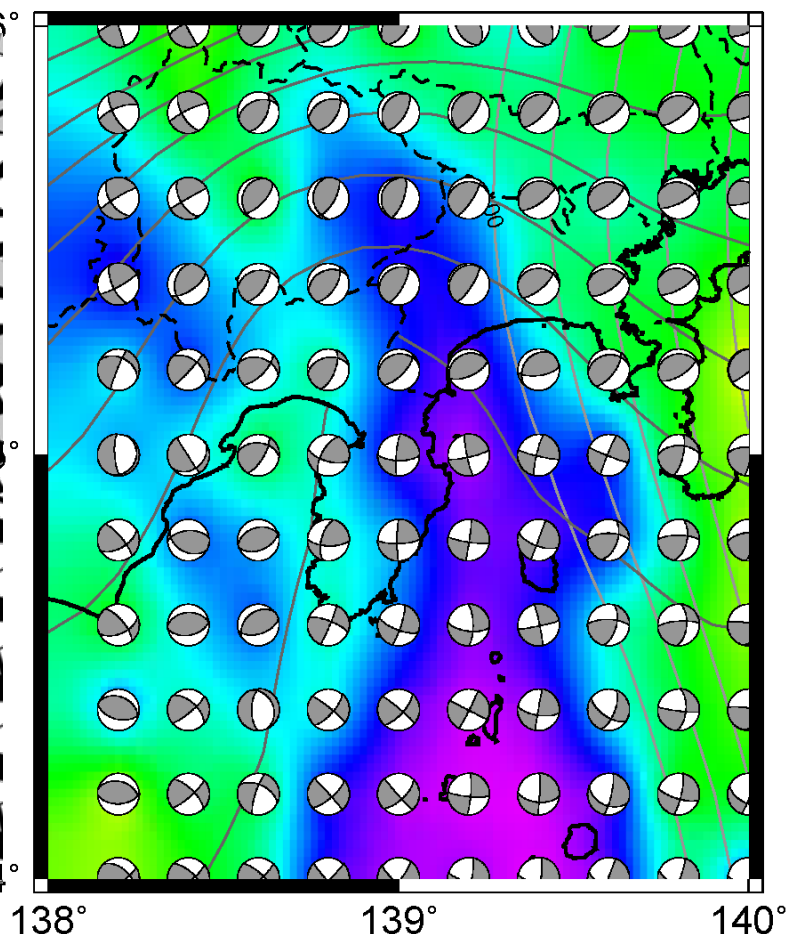


山梨県東部付近の応力場

事務局資料

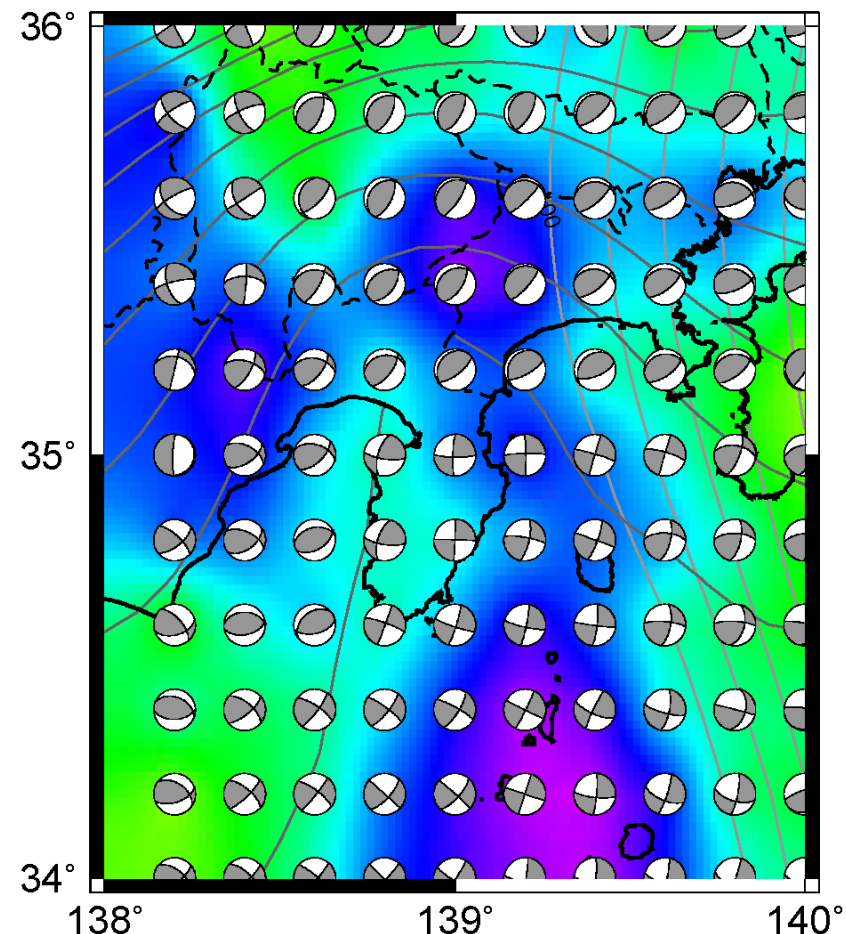


衝突の理論計算
(深さ10 km 球サイズは
応力蓄積レートに比例
Matsu'ura et al.(2008))

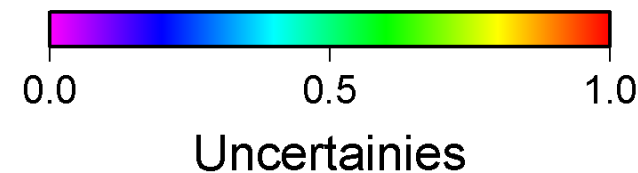


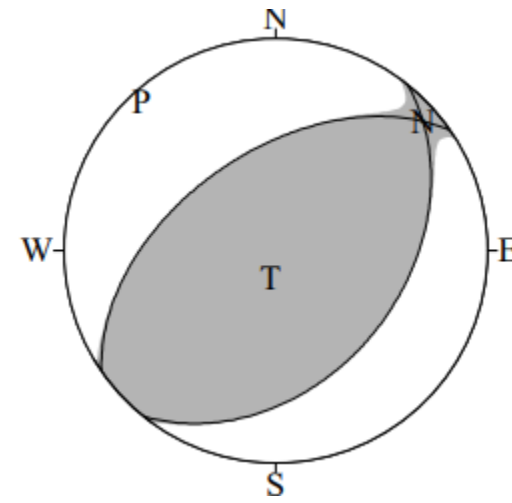
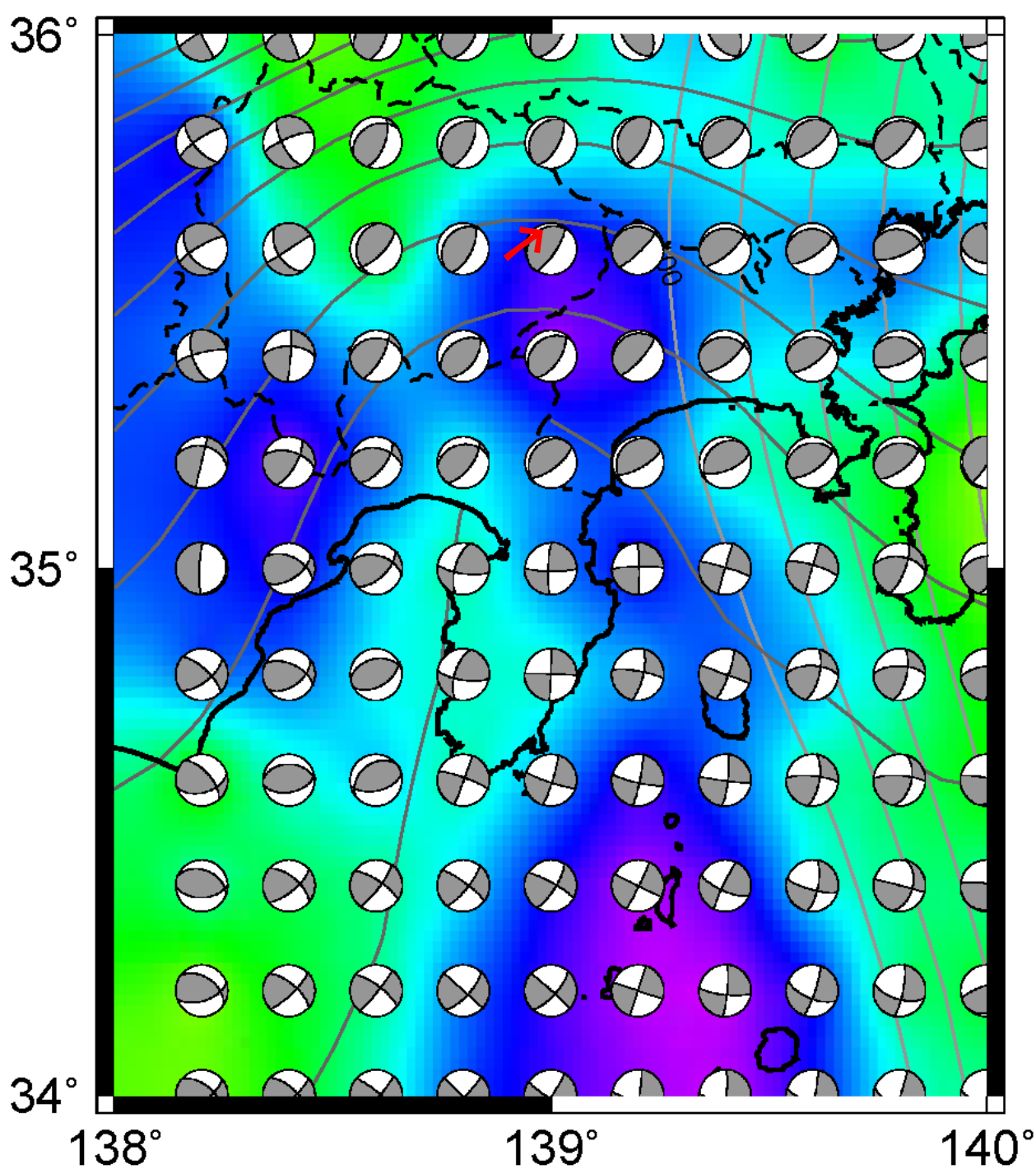
深さ10 km

Terakawa and Matsu'ura(2010; 2023)



深さ20 km (寺川提供)





→は2026/6/26 M5.6 山梨県東部 深さ20 kmの位置

今回の地震はPHSプレートの伊豆半島付け根での衝突に起因して蓄積した歪エネルギーの解放過程として極めて順当

深さ20kmのT&M(2010)の応力場